

子育てに悩む親を あたたかく抱えたい

調布教会 太田喜子さん

太田喜さんは、平成13年に東京都調布市で家庭共育LAB「ウイズ」を発足し、家庭教育アドバイザーとして活動している。子育てに悩む母親の話に耳を傾け、手を取り、ときに抱きしめながら「そう、それはつらかったのね」と相手の気持ちをていねいにすくい上げていく。そして、悩みの原因の一端が自分にあることを気づかせた上で、具体的な実践を勧めるのが太田さんのアドバイスの特色だ。最近ではその評判が広まり小学校のPTAや幼稚園からの講演依頼が増えた。休む間もない毎日だが、多くの母親との出会いを通じ、太田さん自身もまた、一人の人間としての成長が実感できるのだという。「一人でも多くの人を幸せに」という願いを胸に、今日も若い母親と向き合っている。



怒ること、
叱ること、
諭すこと

釈尊の十大弟子の
お一人、舍利弗尊
者は「叱るのにお
さわしい時を選
ぶ」「やさしく穏
やかな言葉で話す」「慈しみの心で話
す。瞋りの心では話すまい」などの戒
めを修行者たちに伝えていきます。私た
ちはつい言わなくてもいいことを言っ
たり、感情的に怒ったりしがちですが、
そういうときこそ、相手を尊重する気
持ちと自己を省み（かえり）ることを忘れずに、
と舍利弗尊者は教えています。

人を思いやるやさしさがあつたか、心
から相手の成長や幸せを願ってふれ
あつていたか……。叱責も諭すというこ
ともそうした内省（ないせい）とともにあり、だか
らこそ叱られた人の胸には「あのとき
叱られてありがたかった」という思い
がわき起こるのでしよう。

叱られたことが感謝に変わる——
いずれの場合であれ、そう願わずには
いられません。

立正佼成会